



new 看板です

こもれびの森 ウッドランドクラブ通信 6月号

こもれびの森森林科学館 2013年6月25日発行(発行責任者 島貫房雄)
宮城県栗原市花山字草木沢角間10-7 Tel/Fax0228-56-2330
<http://mifi.main.jp/komorebi.htm>

●5月28日、一迫小学校四年生の皆さんが当館へおいでになりました。「森のこと」をテーマでお話をしました。いただいたお手紙の中に、木の葉から酸素が出ていること、針葉樹と広葉樹があること、湧き水が美味しかったこと、花山を流れている川が一迫でつながって、海に流れていることなどの感想がありました。よく覚えてくれましたね、うれしいです。又、おいでください。

●13期生の皆さんが自主企画で来館してくれました。ピザ焼きを楽しんだ後は、「13期生の森」に付ける樹名板作りもしました。

●6月9日にはウッドランドクラブ「カブトムシの飼い方講座」が行われました。カブトムシの生態と飼い方を分かり易く紙芝居で説明を受けた後、フクフクの子どもたちは甲虫ビオトープへ移動・・・朽木を起こすたびにゴロゴロ出てきた幼虫に大歓声。成虫になる楽しみと卵から幼虫を育てる楽しみを一緒に持っていきもらいました。(山本記)



一迫小学校の皆さん(上)と届いたお手紙

皆で幼虫掘り、オスとメスの区別はなかなか難しいです



幼虫の肌はとてもデリケート、素手で触ると火傷するくらいです

6/9に山形県の金山町にある、遊学の森主催の「森の祭典」に出席しました。地元小学校の鼓笛隊の演技や体験コーナー、森林ウルトラクイズでは大盛り上がり・・・森のコンサートなどもあり楽しい一日でした。

(6/22,23に最上町主催の「復興絆の森づくり」イベントも行われ、当協会もパネルディスカッションに参加しました)

震災後、特に宮城から来たと分かると皆さんが声をかけてくれます。山形県の方々の温かいご厚情を感じています。



山形遊学の森「森の祭典」



ウリノキの花

当館職員及川さんは池からメダカをすくってきました。昔はどこにでもいたメダカ、今じゃ絶滅危惧種。さらに、池の傍のヤマハノキからモリアオガエルの卵まで持ってきました。(必見・・・生きもの観察コーナーで展示中)

裏山の遊歩道際で「ウリノキ」の花が咲き出しました。目玉が二つ、雄しべと雌しべがまるでヒゲが下がったように見えてとてもユニークです。



星のようなヤマボウシの花



アサザとミツガシワのコラボ

しま所長のコラム

6月のウッドランドクラブは「カブトムシの飼い方講座」をやりました。私がここへ来て2回目の企画でしたが、大人気のイベントで定着し今回は60名を超す参加者になりました。廃菌床や幼虫を分けていただいた近所の農家の方にお礼を申し上げます。

森林科学館の周辺は、初夏の花が真っ盛りです。ヤマボウシの花はまるで星を散りばめたよう。池ではアサザとミツガシワのコラボが始まりました。

・・・これからの「こもれびの森ウッドランドクラブ」のご案内！

●7月28日(日) 川遊び&自然観察とディキャンプ、ソーメン流しもやります

※定員は60人程度、10時～13時半、場所は森林科学館とその周辺

※参加費500円、持ち物などお問い合わせ、申し込みはお電話かFAXでお願いいたします。